

被爆者の体験を、子ども達に引き継ごう

高口は、祖母が長崎で被爆した「被爆3世」。戦後75年の今年、「4世」の子ども達にも、私から、祖母の体験を聞かせました。子ども達は、「戦争は絶対イヤ」「原爆はこわい」ということを、リアルに感じていました。

今、被爆者は高齢化が進み、子ども達に戦争体験をどう引き継ぐかが課題。区内被爆者の方からお話を伺い、他区の取組も調査したうえで、子ども達が体験を聞ける場づくりや、若い世代の参加が少ない平和事業の改善を、決算の議会でも求めました。

使命感をもち、情報発信しています！

元ライターの実験を活かし、身近で深い区政の問題を、積極的に発信しています。ブログは3年間で500以上の記事をUP。SNSも日々更新しています。それは、区民の皆様と区政をつなげることに、使命感、信念をもってのから…！

一方、10月16日の「議会運営委員会」にて、「議員がSNS等による情報発信をする際に遵守すべき事項(案)」が提出されました。「1 公人であることを意識し節度をもって情報発信すること」「2 疑義が生ずることのないよう事実に基づき正確な情報発信を行うこと」…と一見常識的な内容ですが、「節度」「疑義」は大変主観的。これを受け、ルールを作ろう、といった声もあり、ルールができれば、それだけで発信しづらくなる心配が…。SNSは、区民にとっても、議員の発言をチェックし、意見や批判が直接できる、開かれたツールです。その規制は、区民の知る権利も脅かしかねません。

必要なのは、規制より、情報公開。委員会のネット配信などこそ、進めるべきです。高口は今後も、価値ある情報を発信し、皆様のお役に立ていけるよう、頑張ります！

高口ようこ 検索

【講座レポート】学びをとめない！ZOOM併用で継続中

2020年8月1日

2020年11月21日

あなたの税金、どこへ行く？ 練馬区の財政を学ぼう

難しい財政の基本や課題を、わかりやすく解説。講師：安達智則先生



イエナプラン勉強会 vol.1@zoom

今注目の「イエナプラン教育」の勉強会。定期的に開催を続けます。次回は12月27日(日)13~15時。どうぞご参加ください！



たまには余談
練馬区議会
あるある!?

議場の椅子がフカフカすぎて
腰が痛くなる……



こうぐち
高口ようこ かわら版
vol.11

〒176-0002 練馬区桜台 3-42-29 荒川方
TEL 080-7746-8648
Email info@koguchiyoko.net
Web koguchiyoko.net



発行：市民の声ねりま 高口ようこ

市民の声ねりま shiminnokoenerima.com

知らなくても叱られない 区議会 Q&A

Q 一般質問ってなに？

A 「一般質問」は、年に1回、議員が自由なテーマで区に質問できる大チャンス。各議会につき3日、1日4人が登壇するのが通例です。質問まとめて25分、答弁20分。練馬区議会の場合、聞き返すことができないため、突っ込んだ質疑ができないのが悩み所…。そこも踏まえて、原稿を練り上げます！



2020年9月、一般質問の様子

街頭演説が難しい時期…

ライブ配信など
SNSで積極的に
発信しています！

子どもと、未来のこと。



こうぐち 高口ようこ

練馬区議会議員

プロフィール

1980年桜台生まれ/小竹町にて2児の子育て中/開進第三小・中、都立大泉高校、慶應義塾大学卒/地域活動を多数主宰/夫をがんで亡くし、在宅医療や介護を経験/フリーライターを経て、2018年、区議補選で初当選。2019年、トップ当選。

かわら版

vol.11



昭和32-33年撮影。若かりし祖父と、母・叔母。
8/31朝日新聞にも掲載頂きました。

高口自身も、子どもの頃からとしまえんへ。
思い出がいっぱい…

今までありがとう！ としまえん そして、どうなる!?

94年もの、長い長い歴史に幕をおろした「としまえん」…。今までたくさんの感動と思い出を、本当にありがとうございました！心より感謝をしつつ…ここからは、よい公園づくりが、私たち議会と行政の仕事。カーセルエルドラドなど、としまえんの“遺産”も残せるよう頑張らなくては…。と思いきや、すでに大問題の数々が！

意見募集より、「覚書」が先行 → 区民の声が、後回しに！

都指定の「避難場所」 → 工事区域も避難場所に

18495㎡もの貴重なみどりの伐採届！

カーセルエルドラドは戻ってこない？

石神井川の親水整備も難しい？

詳しくは、
中ページで解説！

としまえんの歴史と、閉園後のなごれ

1926 (大正15)年	としまえん開園
1957 (昭和32)年	練馬城址公園 都市計画決定
2011 (平成23)年	都市計画公園 優先整備区域に指定
2017 (平成29)年	練馬城址公園整備計画 資料作成
2020 (令和2)年 6月12日	●5者による「覚書」
8月31日	としまえん閉園
9月1日	解体等準備開始
9月7~8日	●事業者による説明会
9月15日	解体工事開始
2021 (令和3)年 1月頃	●都のパブリックコメント
5月頃	都・公園審議会「答申」

え？なぜ？

区民の意見を聴くための説明会やパブコメより、「覚書」の締結が先！

どうなる!? としまえん

区民・都民の声も聞かず...

2011年の東日本大震災を受け、としまえんは優先整備区域に指定され、防災公園となる計画（閉園は不景気が理由ではないと、としまえん担当者が明言）。しかし公園より先に、民間施設（ハリポッターのスタジオツアー施設）の計画が先行。今年6月には、都、区、西武鉄道、ワーナー、伊藤忠商事の5者が「覚書」をかわしました。その期限は、30年！長期に及ぶのに、近隣住民・都民・区民の声も、議会の確認すら取らずに…。

防災性向上はどこへ？

としまえんは、大規模火災等での避難場所（春日町、向山等近隣区域。避難拠点とは異なる）。2018年の都の報告書でも、「避難有効面積」の狭さが問題視されていました（1.66㎡/人。国土交通省の要件は2㎡/人）。しかし、その代替地の用意もないまま、2020年9月、工事開始。工事区域を抜いた避難有効面積を試算した区民グループは「6畳に12人と超過密」と指摘します。

しかも、工事区域は避難有効面積から除くのが「原則」なのに、今回は「特別な事情」で「個別に判断」と、特例対応。避難場所に指定したままだから避難可能…との説明ですが、工事区域内の具体的な避難方法等もまだ協議中。工事から3か月もたつのに…。工事後の有効面積も不明です。※2020/12/1時点

これから何十年、地域の中心になる場所。防災を含めた課題を考え合い、皆でアイデアを出し合い、いい公園を作っていけたら…と、高口は願います！

問題1 18495㎡ものみどりの伐採届！

伐採対象の樹林面積は約18495㎡。川沿いの桜並木も含まれます。多様性に富み、重要種も多く、絶滅危惧種も見つかった園内。新たな木を植えても、失った生態系は元には戻りません…。

議会で訴えました！

一般質問動画は
こちらから！




「子どもアドボカシー」の体制を

子どもの施策で重要なのは、当事者=子どもの声を聴き、代弁する「子どもアドボカシー」の視点です。それは子どもの声が、社会をよくする可能性を秘めているから。コロナのような緊急事態でこそ、子どもの声の反映が、子どもを守ることにつながります。

アドボカシーの最先端、カナダ・オンタリオ州議会は、公的機関を設け、政策決定者に直接声を届けています。子どもと一緒に問題を解決するパートナーと捉えるのもポイント！ 練馬区も、第三者機関を設置し、子どもの声を施策に反映するよう訴えました。

先行！2023年頃

花のふれあいゾーン
芝生のオープンスペースで、マルシェ等のイベント開催を想定。駐車場は災害時の緊急車両出入口、臨時離着陸場の候補地。

令和5年度（案）



先行！2023年頃

エントランス交流ゾーン
豊島園駅からハリポッター施設までの入り口、通り道が、先んじて整備される。他に、日本庭園や飲食施設も設置の予定。

9年後…

人々を繋げ歴史を伝える文化ゾーン
今のとしまえんプール帯。水遊びできる流れや浅瀬、池・湿地、避難場所にもなるオープンスペースを設置。花畑等で練馬城の歴史を伝える。「プール」の記述はなし…。

～令和11年度（案）



先行！2023年頃

川辺の散策ゾーン
桜並木の桜はほとんどが植え替え。「水辺に近付く親水空間」とされているが、現状、川面まで深く、近付くことは難しい。緊急車両出入口にもなる。

楽しそう…でも、30年後…!?

にぎわいアクティビティゾーン
ハリポタ施設跡地にできる最後のゾーン。BBQもできるキャンプ場、アスレチックや水遊び場等、今ほしい設備だが…。樹林地や雑木林も設けるが、今あるみどりの多くは伐採届の対象。

最終段階



11月30日東京都「公園審議会」資料 段階的な公園整備スケジュールの概略より

問題2 石神井川の親水整備は難しい？

公園整備のポイントの一つが、石神井川の水辺を楽しむ親水整備。現状の石神井川がかなり深いため、川沿いを広くとり、段をつけて下げる整備が考えられます。南側が崖線林のため、北側を広くとるしかありません。しかし民間施設が、川の北側ギリギリに立地し、川沿いを広くとる整備は難しいと予想されます。

問題3 としまえんの遺産はどこへ？

園全体を整備できれば、カラーセルエルドラド等を残すスペースも十分ありましたが、2020/12/1時点では不明のまま…。

問題4 区民の意見は、後回し

覚書の問題も様々ありますが…その一つが、第5条「甲＝東京都は整備計画の策定において、乙＝練馬区の意見を十分に聞く」。法律的には、「聞く＝尊重する」という意味。「同意を得る」とは書いていないため、区の意見を「聞く」だけでよく、計画に反映させる確約、保証はないのです。

問題5 30年後の確約もない？

覚書には「スタジオツアー施設等の設置可能期間は～30年間。なお～期間の変更について申し出があった場合は～関係者は協議に応じる」とあるため、延長の協議を依頼されたら、拒否できません。

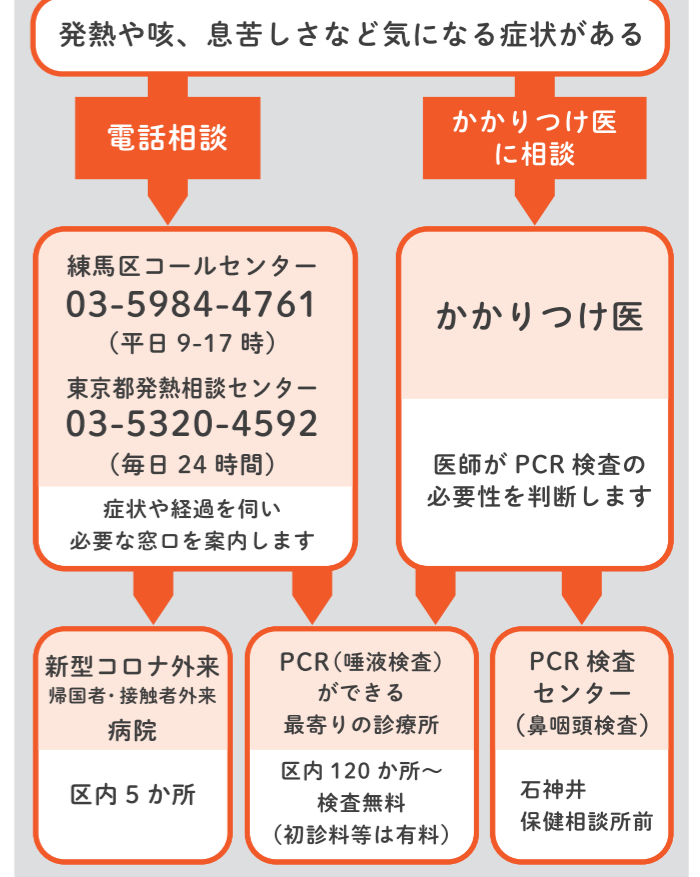
気候危機、区でできること

気候変動が深刻な被害をもたらす今、脱炭素、クリーンエネルギーへの転換は、未来ではなく、差し迫った生命の問題です。練馬区として今すぐできる一つが、入札方法の変更。昨年、環境評価1位の会社が落選。落札した東京電力エナジーパートナーより、CO2排出量は1/3、再生可能エネルギー導入状況は8倍もよかったのに、です。環境評価1位の会社が入札できる方法（総合評価型入札）に変更を！

他にも多数！

- 少人数授業、小規模校が重要！小竹小を残し、改築を。
- 旭丘小中一貫校の新校作りに、子どもの参画を。
- 地域の環境向上のためにも、自然豊かな校庭に。
- 地域経済が鍵！多様な働き方を支える体制を。
- 中止を訴えてきた補助172号線、江古田部分が事業後退！
- 放射35号線延伸部分、石神井公園駅前再開発は見直しを！
- 子どもが遊べる道路など、安全でゆたかなまちづくりを！


新型コロナかも？と思ったら... 受診フローチャート



インフルエンザも流行りだす時期…

発熱などの症状が出たら
まずはかかりつけ医にご連絡を！
一時期に比べ、PCR検査も受けやすくなっています。

濃厚接触者で症状が出た方は、
速やかに保健所へ連絡ください。



新型コロナウイルスと子どもたち

新型コロナは、教育の課題も明らかにしました。練馬区は休校中、「みんな一緒に」で、都のオンライン機器の貸出等にも対応せず、結果、課題は家庭にまかせきり。今まさに、「みんな一緒に」という価値観からの転換が求められています。

1人1台のタブレットPCは、来年2月の導入完了予定。ですが、今の一斉授業をオンラインに変えるだけではダメ。教師は、子どもを個別にサポートし、協働を促す役割となり、子どもが自ら学べるよう、体制そのものを変える必要があります。

- ◆ 一人ひとりのやり方にあわせて支援するオンライン教育の体制づくり
- ◆ 再度の休校でも学びが継続できる体制を
- ◆ 不登校や障害のある児童へのタブレットの活用

等、具体例を示して質疑しました。今後も、新しい教育の実現を、求めています！